

接続政策委員会(第81回) 事業者ヒアリング資料

2026年5月19日

一般社団法人テレコムサービス協会
MVNO委員会



- 当委員会では2026年3月にMVNOの事業環境の整備に関する政策提言2026を公表しております。政策提言2026では、今回のヒアリング事項について課題としていることから、課題解決に向けた取り組みを要望いたします

提言項目

提言骨子（抜粋）

① **接続料の予見性・卸料金の適正性の確保**

- **環境変化を踏まえた予測接続料算定の適正化・精緻化および透明性の向上**
- MVNOが持続的にビジネスにチャレンジできる適正な卸料金の実現

② **競争環境の変化を踏まえたイコールフットिंगの確保**

- スタックテストによるMNOの料金プラン検証の実効性向上
- MNOに対する二種指定設備制度の規律の拡充

③ **5G（SA方式）時代の機能開放を踏まえたMVNOの在り方の検討**

- **5G（SA方式）等におけるアンバンドル機能化の実現**

④ **利便性機能・新技術のMVNOへの開放促進**

- **利便性向上に資する機能や革新的なサービスのMVNOへの開放促進**

⑤ **利用者本位の公正・持続可能な市場整備の推進**

- 利用者利益を踏まえた適正な競争環境の実現に向けた取り組み
- 利用者が合理的な通信サービス選択ができる環境の維持
- 利用者が安心してサービスを継続利用するための取り組み

議題 1

モバイル接続料の検証

- 一部事業者において、前年度の予測を上回る予測接続料の届出がされており、今後も物価上昇や加入光ファイバ接続料の上昇など、MNOのコスト増に繋がる要因が見込まれることから、今年度以降も予測接続料が前年度予測を上回ることが想定される
- データ接続料が前年度予測を大きく上回る場合には、MVNOの事業運営に影響を及ぼすことが懸念されるため、複数年度での平準化など、MVNOへの負担軽減を図るための措置について事前に検討 いただきたい

データ伝送交換機能に関する予測接続料の推移

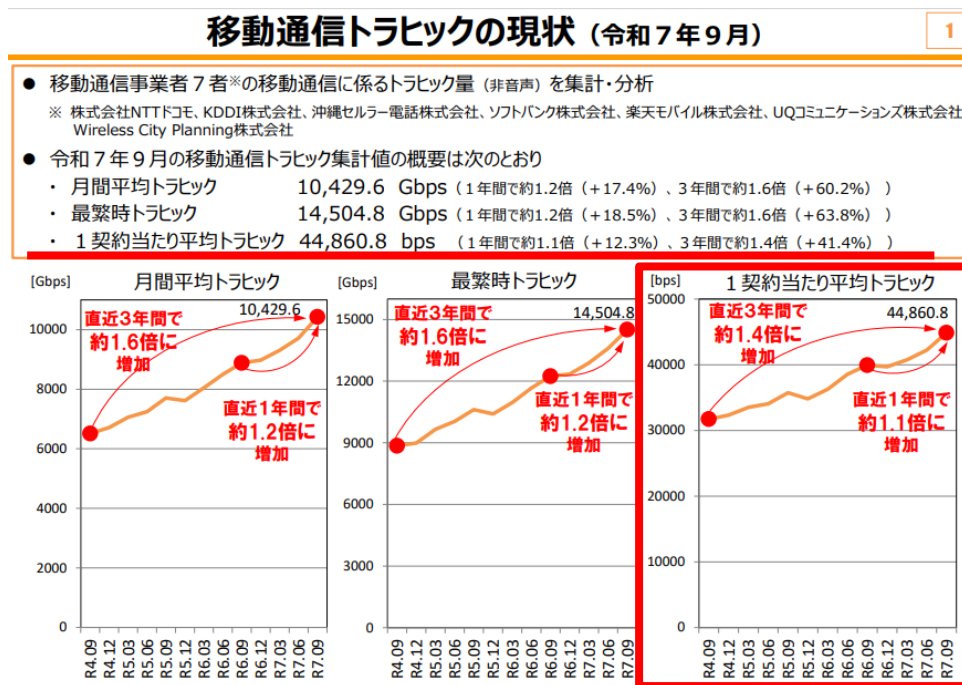
	NTTドコモ			KDDI			ソフトバンク		
	2023年度届出	2024年度届出	2025年度届出	2023年度届出	2024年度届出	2025年度届出	2023年度届出	2024年度届出	2025年度届出
2025年度	10.8	→ 10.8		10.1	→ 10.1		8.9	→ 8.9	
2026年度	10.7	↘ 10.3	↗ 10.9	11.8	↘ 11.3	↗ 11.7	9.2	↗ 10.2	↘ 9.7
2027年度		↗ 9.0	↗ 10.1		↗ 10.4	↗ 10.9		↗ 9.9	↘ 9.6
2028年度			9.4			10.3			9.0

予測接続料が前年予測から上昇

更なる費用配賦見直しの影響

（2023年度～2025年度届出接続料より当委員会作成）

- 移動通信における1契約当たりの平均トラフィックは年々増加している状況であり、MVNOが通信品質を確保していくには継続的な帯域の増強が必要になる。このような局面では、データ接続料が低廉化していかなければ、MVNOのコスト吸収努力では限界があり、今後、MVNOの事業運営に影響を及ぼすことが考えられ、ユーザ料金への反映も想定される
- MVNOがユーザに対して、現在と同等以上の通信品質で低廉なサービスを提供していくためには、第八次報告書に「MNO各社は、令和8年度以降も、費用の削減や需要の喚起に取り組み、データ接続料の低廉化に取り組むことが適当である」とあるように、MNO各社においては引き続きデータ接続料の低廉化に取り組んでいただきたい



- 接続料の算定等に関する研究会の第九次報告書にて積極的な情報開示が必要であることとMNOによる情報開示状況を確認することが適当であると結論付けられているところ、一部のMNOからは当該情報の開示がなされている状況であるものの、**「MNOごとに開示情報の具体性に差が存在する」、「説明が定性的で予測値への影響が分からない」との声**は引き続き上げられており、**予測接続料が前年届出を上回る状況**であり、MNOのコスト増加の要因が存在し**今年度以降も前年届出を上回る可能性**があることを踏まえれば、**MNO各社の開示情報の同等性確保、説明の充実が望まれる**
- MVNO個社に対して開示されている情報であるため、当委員会にて内容は把握できておりませんが、前項のような声がMVNOから上がっている現状を踏まえると、**MVNOにおける予測値の妥当性の確認や予見可能性の確保には至っていない状況と認識**しており、「予測値と実績値の差異」、「予測値と予測値の差異」及び「3か年の予測値」について、**定量的な内容（原価・利潤・需要）に加えて差異要因や予測の考え方等の具体的な説明をMNO各社に求めると共に、総務省殿による情報開示状況の確認が必要**であると考えます

接続料の算定等に関する研究会 第九次報告書（抜粋）

MVNOへの情報開示について、費用配賦見直しの激変緩和措置期間中においては、「予測値と実績値の差異」及び「予測値と予測値の差異」に加え、**MVNOから要望があった場合には、激変緩和措置が適用されない場合の接続料水準等についても、説明することが適当**である。MNO各社からはMVNOに対して積極的に情報開示を行い、一部MNOにおいては**情報開示に係る運用改善が行われているが、MVNOからは開示情報に差が生じており、開示情報を更に充実させることで同等性を確保してほしいとの要望**があった。これらを踏まえ、**引き続きMNOによる情報開示状況を確認し、状況を注視することが適当**である。

5Gホームルーター サービスの 卸役務提供 に関する協議状況

- 本委員会によるアンケート調査の結果、回答のあった12社中2社がMNOとの協議を進めており、2社共に協議が進展したとの回答があった
- 協議が進展したとの回答があった2社からは具体的な課題は挙げられなかった

IMS接続 に関する協議状況

- 本委員会によるアンケート調査の結果、回答のあった12社中2社がMNOとの協議を進めており、うち1社は協議が進展するも、課題があると回答があった
- 具体的な課題としては、IMS接続機能に係る接続料について、提示された料金に対する根拠等の開示が不十分であり、透明性確保の観点で課題があるとの回答があった

その他 (卸役務に関する規律や 制度等における 課題・要望等)

- モバイル接続料の費用配賦の見直しにより、2025年度届出の音声接続料が低廉化したところ、MNOや中継事業者からMVNOへの音声卸料金にも反映が期待されるため、公正な競争環境の確保の観点から、引き続き定期的な確認や検証等をお願いしたい

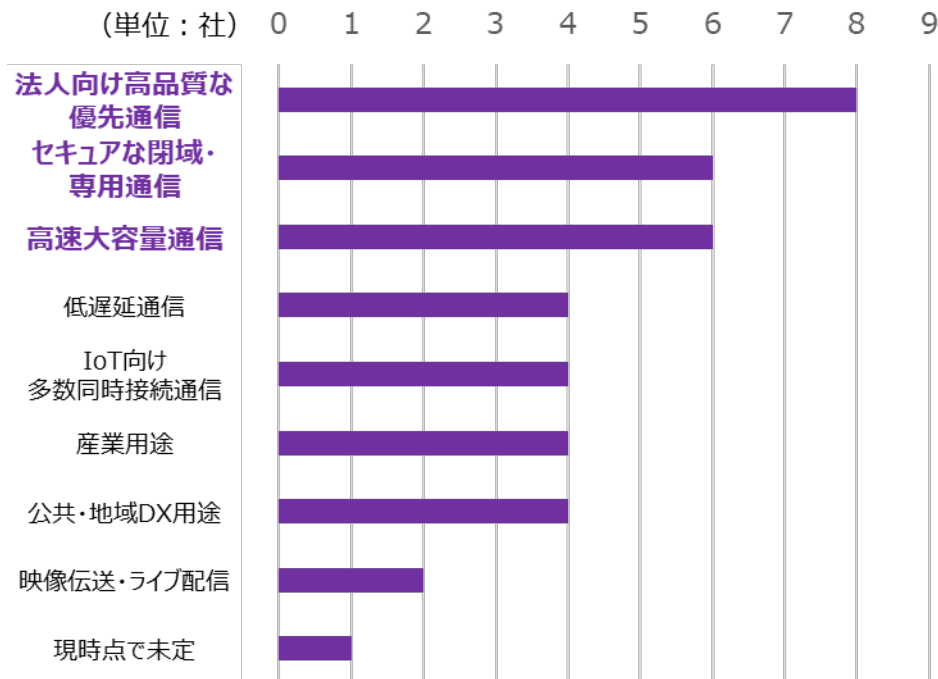
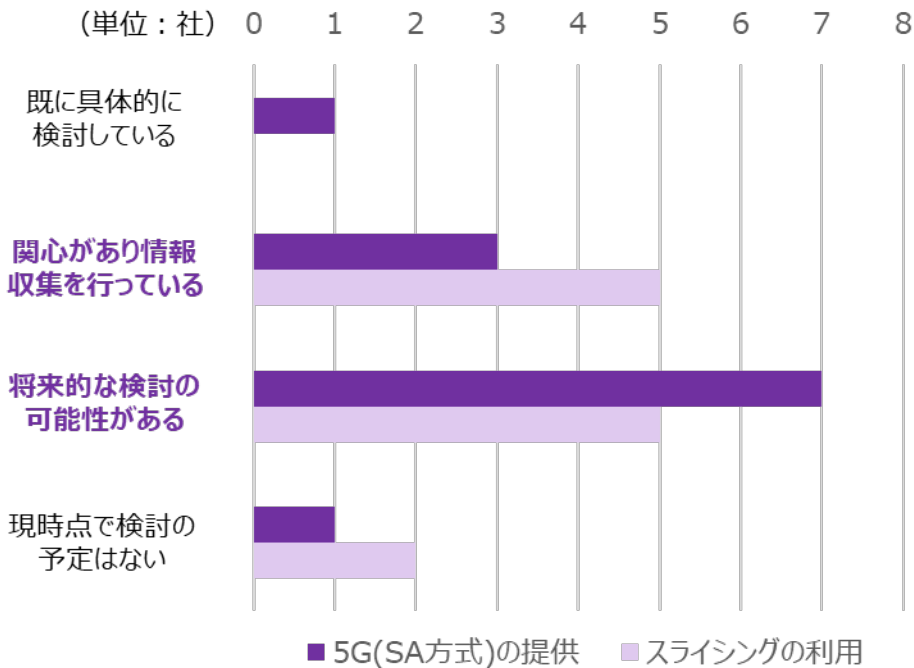
議題 2

5G（SA方式）のスライシング提供に対応したネットワーク開放ルールの在り方

- 5G（SA方式）、スライシングについての検討状況を会員企業にアンケートをおこなったところ、具体的に検討をしている会員企業は1社であるものの、「**関心があり情報収集をおこなっている**」、「**将来的な検討の可能性はある**」との回答が大半であり、多くの会員企業が一定の関心を有している
- 興味のある機能・用途・領域としては、「**法人向け高品質な優先通信**」、「**セキュアな閉域・専用通信**」、「**高速大容量通信**」が挙げられた

問. 貴社における5G（SA方式）やスライシングの利用に向けた検討状況について、最も近いものを以下より選択してください。（1つのみ）（N=12）

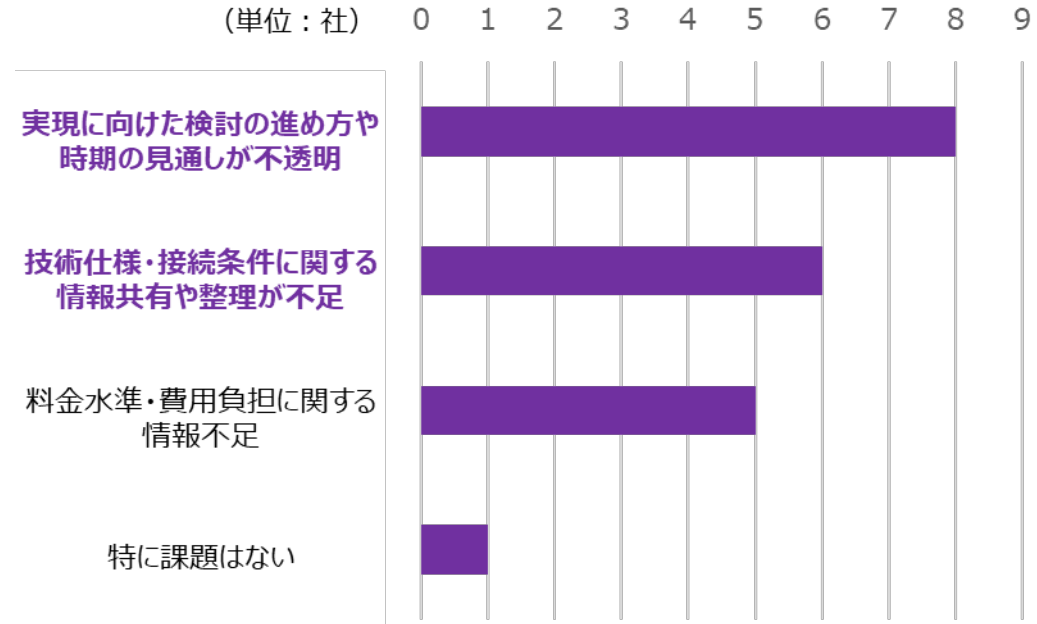
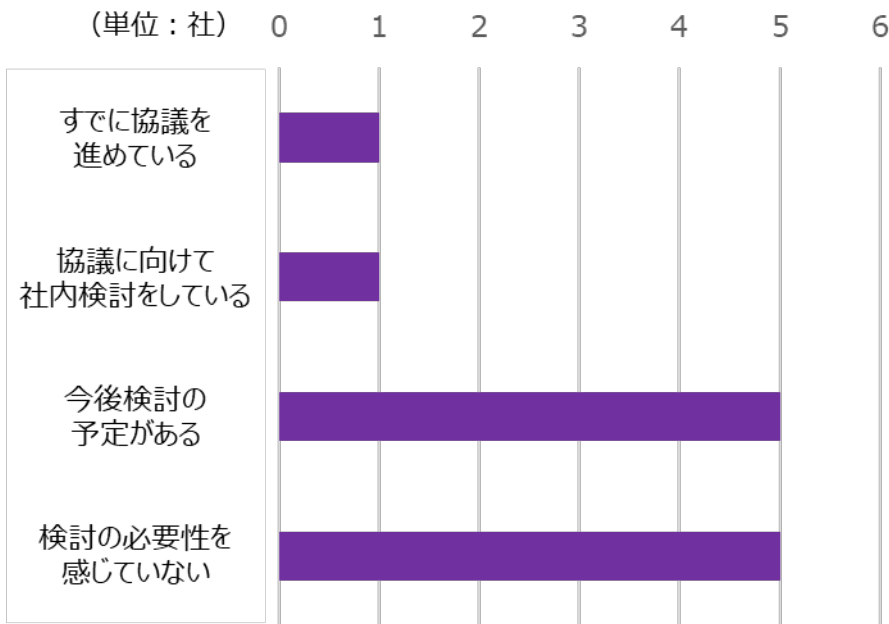
問. 「5G(SA方式)」「スライシング利用」について、貴社が現時点で関心を有する機能・用途・領域があれば以下より選択してください。（複数選択可）（N=11）



- 5G（SA方式）L2接続相当については、既に1社が具体的な協議を進めており、また、今後検討予定又は社内検討中のMVNOも存在する。今後、先行する協議事例を踏まえつつ、多くのMVNOが利用可能な形で機能開放が進むよう、必要な制度整備や情報開示の充実が望まれる
- 協議・検討に向けた課題として、「実現に向けた検討の進め方・時期の見通しが不透明であること」、「技術仕様・接続条件に関する情報共有や整理が不足していること」が挙げられた

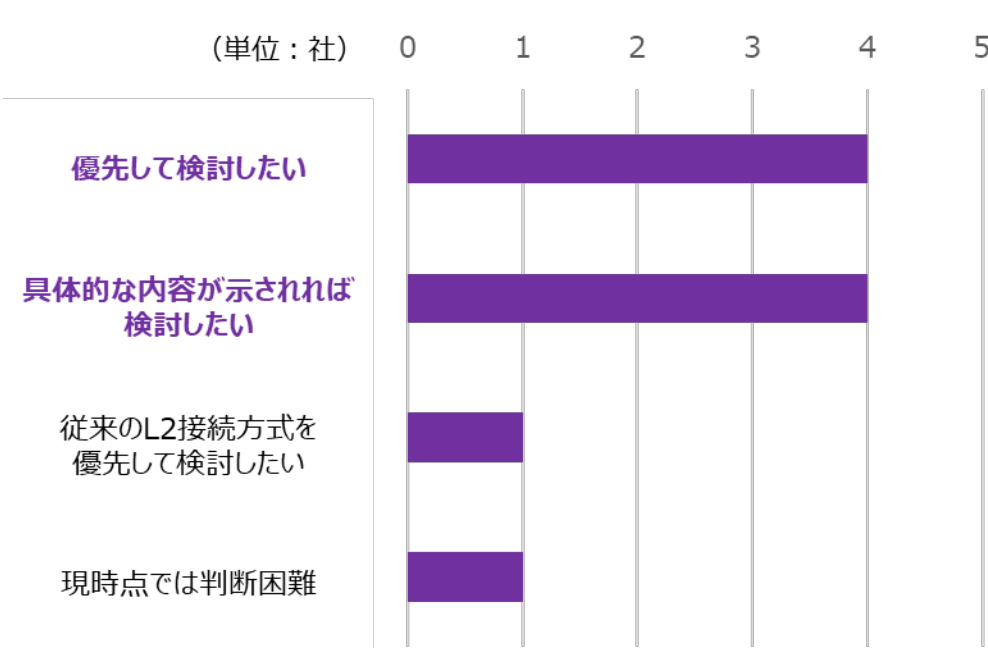
問. 貴社にとって、5G（SA方式）におけるL2接続相当の実現に向けた卸元事業者との協議状況を選択してください。（1つのみ）（N=12）

問. L2接続相当の開放に向けた協議・検討を進める上で、現時点での主な課題があれば以下より選択してください。（複数選択可）（N=10）

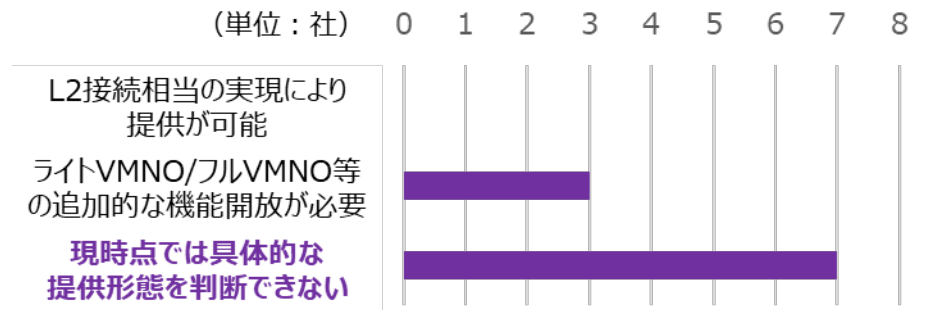


- 5G（SA方式）におけるMVNOの負荷軽減が期待できる別の方式は、優先して検討したいと回答が多く、今後、MVNOからの要望に応じてMNOによる具体的な情報開示が進められることが望まれる
- スライシングを活用したサービスについてはL2接続相当では実現できず、現時点では具体的な提供形態を判断できないとの回答であり、VMNOについては具体的な検討に至っている会員企業はいない

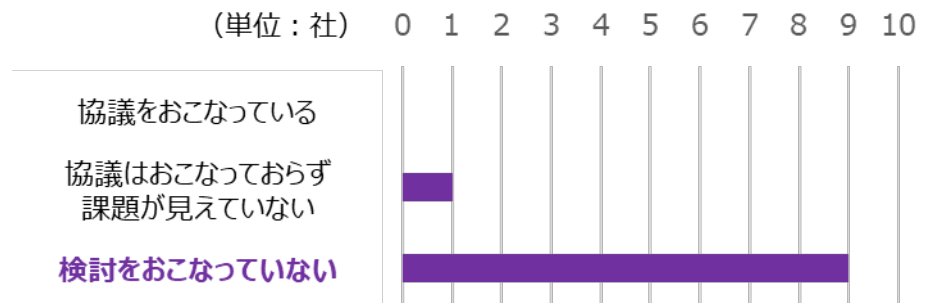
問. L2接続相当の実現に当たり、MVNOにおける負担軽減が期待できる別の方式（ライトMVNO）について、貴社の考えに最も近いものを以下より選択してください。（1つのみ）（N=10）



問. 5G（SA方式）の特徴であるスライシングを活用したサービスについて、L2接続相当の実現によって提供可能になると考えますか。（1つのみ）（N=10）

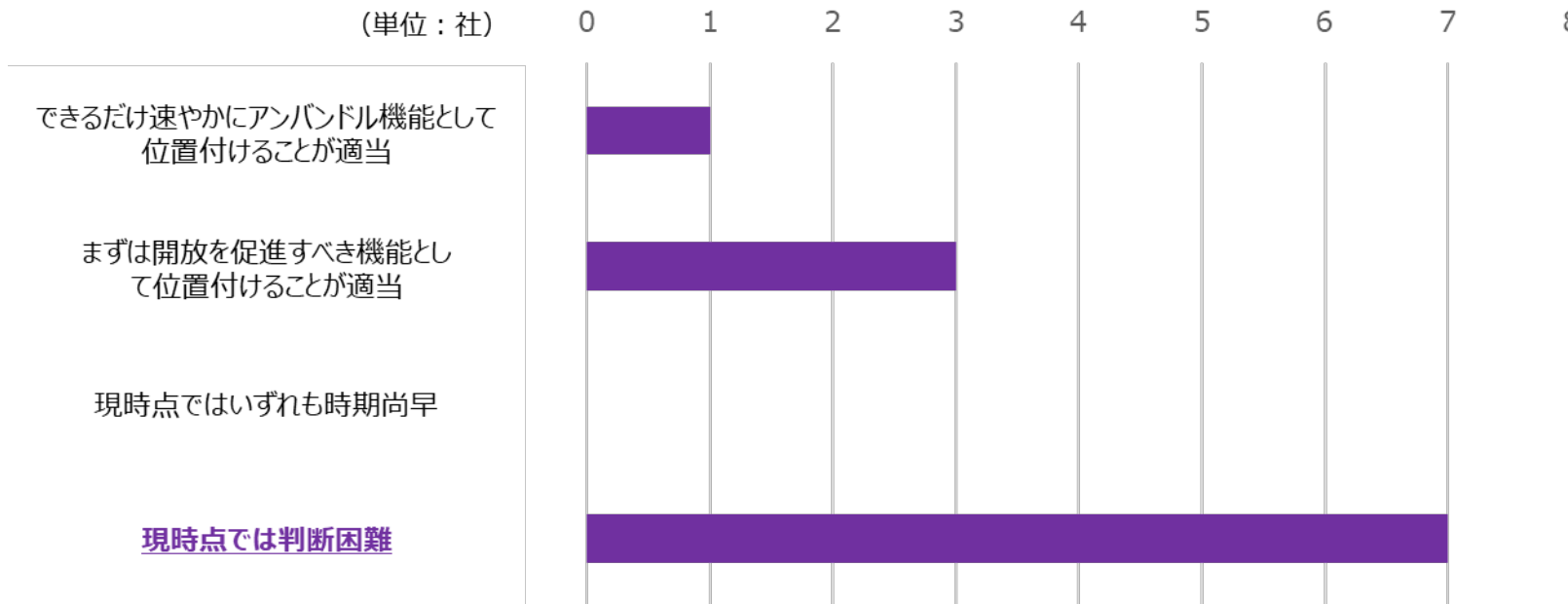


問. ライトVMNO又はフルVMNOの開放に向けて、卸元事業者との協議における主な課題があれば以下より選択してください。（複数選択可）（N=10）



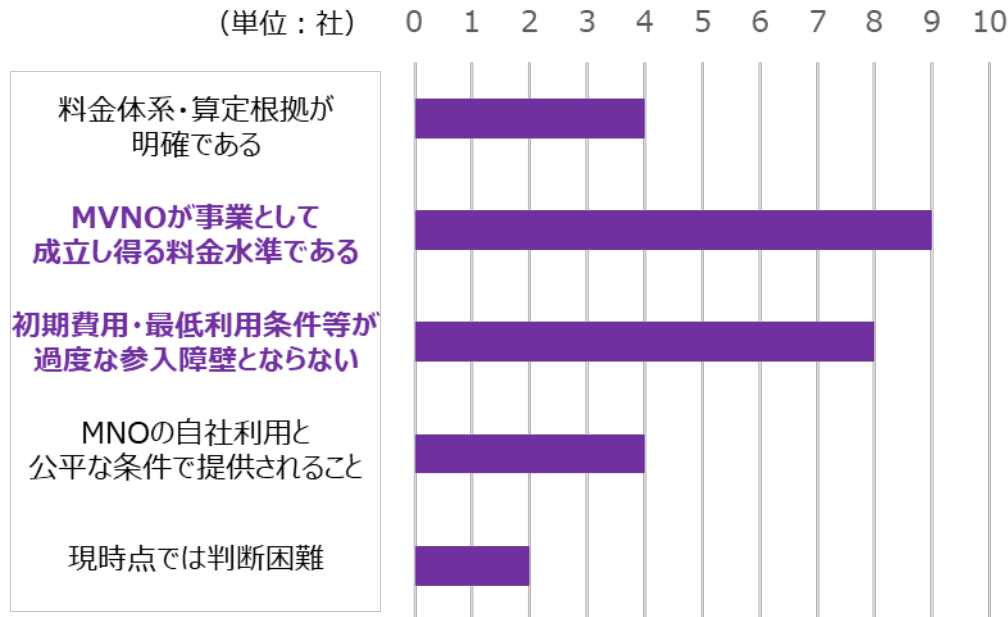
- 5G（SA方式）L2接続相当のアンバンドル機能化は、現時点で判断困難という回答が大半である
- 現時点では協議が進んでいる事業者が少ないことから判断困難との回答が多いものの、5G（SA方式）におけるMVNOの機能開放を着実に進める観点から、まずはL2接続相当を「開放を促進すべき機能」として位置付け、MNO・MVNO間の協議状況等を踏まえ、将来的なアンバンドル機能化について継続的に検討いただきたい

問. 「L2接続相当」の制度上の位置づけについて、貴社の考えに最も近いものを以下より選択してください。（1つのみ）
（N=11）



- スライシング提供におけるデータ接続料金の在り方については、「**MVNOが事業として成立し得る料金水準**」・「**過度な参入障壁にならない制度・料金**」であることが重要という回答が大半である
- 会員企業からは、「**機能開放の内容や費用負担の水準が不透明な点についての意見**」があったことから、**MVNOにとって参入障壁とならないよう制度整備されることが望まれる**

問. スライシングを活用したサービスに対応する接続料金の在り方について、貴社が特に重視すべき点があれば以下より選択してください。
 (複数選択可) (N=11)



問.その他、5G(SA方式)の提供・スライシングの利用にあたって課題や要望等があれば、具体的な内容を記載してください。
 (自由記述)

- ✓ スライシング対応を含む5G (SA方式) の卸役務について、個社協議に委ね過ぎない形での制度設計が必要と考える。特に、**初期費用や機能追加に伴う費用負担が不透明なままでは、実質的な参入障壁**となり、競争促進がされない懸念がある。
 小規模MVNOや地域事業者でも利用可能な形で、料金の透明性・合理性を担保し、MVNOにとって予見可能性のある制度整備がされることを要望する。
- ✓ 5G(SA方式)・スライシングの提供にあたっては、**帯域制御のAPI化やポリシー制御等を含む機能開放が重要**となると考えており、開放内容と時期を明確化を要望する

- その他、卸役務に関する規律や制度等における課題や要望等についてMVNOからの意見は以下の通り
 - MNO（グループMVNO含む）とMVNOにおいて提供している機能の差がある状況であり、MVNOにも利用可能となるよう要望いたします

卸役務に関する
規律や制度等
における
課題・要望等

- ✓ eSIMクイック転送機能については、MNO及びMNOグループに属するMVNOのみが利用できる状況となっておりMNO及びグループMVNOと独立系MVNOの利用者間で著しく、利便性に差が出ている状況であることから、MNOに対しては本件に関する機能を独立系MVNOにも利用可能とするように要望する
- ✓ iPhoneのAPN設定が不要であることやeSIMクイック転送等、MNO及びグループMVNOが提供しており、独立系MVNOのみでは提供が困難な機能の開放を要望する
- ✓ 衛星ダイレクト通信サービスのMVNOへの提供を要望する

一般社団法人テレコムサービス協会



- (株) アーリンク
- (株) アイ・オー・データ機器
- (株) 秋田ケーブルテレビ
- (株) 朝日ネット
- イオンリテール (株)
- (株) インターネットイニシアティブ
- (株) インテック
- ANA X(株)
- H.I.S.Mobile (株)
- (株) STNet
- エックスモバイル (株)
- NTTドコモビジネス (株)
- (株) NTTデータ
- (株) NTTドコモ
- (株) NTTPCコミュニケーションズ
- (株) 愛媛CATV
- (株) オプテージ
- 兼松コミュニケーションズ (株)
- (株) カブ&ピース
- (株) QTnet
- 近鉄ケーブルネットワーク (株)
- (株) コスモネット
- (株) コミュニティネットワークセンター
- (株) サジェスタム
- GMOインターネット (株)
- (株) シー・ティー・ワイ
- JCOM (株)
- (株) Jストリーム
- (株) 情報通信総合研究所
- スターネット (株)
- スマートモバイルコミュニケーションズ (株)
- (一社) 全国事業協会
- (株) センターモバイル
- ソニーネットワークコミュニケーションズ (株)
- SORAシム (株)
- (株) TAM
- だれでもモバイル (株)
- TIS (株)
- (株) 地域ワイヤレスジャパン
- (株) ちゅピCOM
- DXHUB (株)
- (株) TOKAIコミュニケーションズ
- トランスコスモス (株)
- (株) ドリーム・トレイン・インターネット
- ニフティ (株)
- (一社) 日本ケーブルテレビ連盟
- 日本通信 (株)
- ニュー・アイティー・ヴェンチャー (株)
- (株) ハイホー
- (株) 日立システムズ
- ビッグロブ (株)
- 富士通 (株)
- 華為技術日本 (ファーウェイ・ジャパン)
- (株) フォーバルテレコム
- 福井ケーブルテレビ (株)
- フリービット (株)
- ミーク (株)
- (株) メルカリ
- (株) モバイルアーツ
- (株) U-NEXT
- LINEヤフー (株)
- 楽天モバイル (株)
- (株) ラネット
- (株) LinkLife
- (株) 嶺南ケーブルネットワーク
- (株) レキオス
- Y.U-mobile (株)